

【冬期間における水抜き方法】

県営備後第2アパート 6号棟

冬期間、水道管凍結の恐れがある場合や、長期間不在にする場合に行ってください。

◇玄関ドア横にあるパイプシャフト内の給水弁と水抜弁、及び室内の湯抜弁を操作します。

水抜き手順

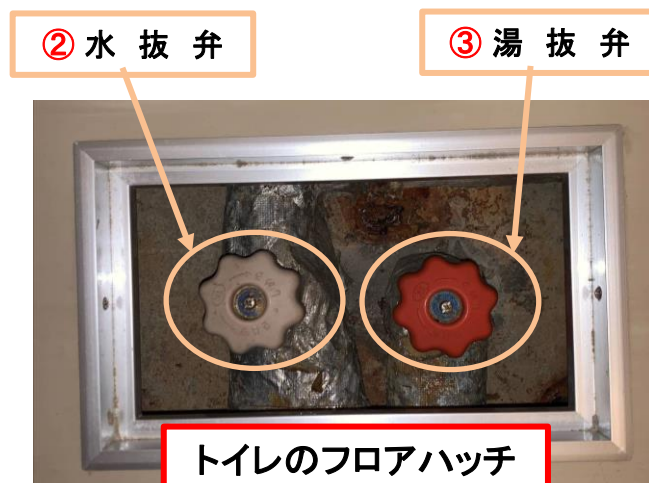
1. パイプシャフト内の「①給水弁」を「時計回り」に止まるまで回して下さい。
2. トイレの床にあるフロアハッチを開け「②水抜弁」を「時計回り」に止まるまで回して下さい。
3. 水抜栓と同じフロアハッチ内にある「③湯抜弁」を「反時計回り」に止まるまで回して下さい。
4. 各蛇口を開いて配管内の水を抜きます。トイレは2回程流してタンク内を空にして下さい。
5. 洗濯機に接続の給水ホースは一度取外して水抜きを行い、水抜完了後に復旧して下さい。
6. 各蛇口から水滴が落ちなくなったら水抜き完了です。水抜きが終わったら、事故防止のために全ての蛇口を閉めておくようお願いします。

通水手順

1. 全ての蛇口が閉まっていることを確認して下さい。
2. 「③湯抜弁」を「時計回り」に止まるまで回して下さい。
3. 「②水抜弁」を「反時計回り」に止まるまで回して下さい。
4. パイプシャフト内の「①給水弁」を「反時計回り」に止まるまで回して下さい。

各蛇口をゆっくり開き、水を出して下さい。いきなり蛇口を開くと水と空気が飛び散る場合がありますのでご注意ください。

※各弁・栓類のハンドル操作は「全開・全閉」として下さい。中途半端な開閉状態は、漏水の原因となります。



※ パイプシャフトの写真は、末尾偶数号室のもので。

※108号室の「水抜弁」「湯抜弁」は、洗濯機置き場の前に設置されています。

給湯器の凍結防止について

お住まいのお部屋には、給湯器が設置されております。凍結による故障は自己負担となりますので、先の水抜き操作に加え、以下のことをお守りください。

- ① 冬期間中は、長期不在の場合も、宅内の契約ブレーカーを切らないでください。
また、分電盤内に給湯器及び凍結防止ヒーターの表示があるブレーカーは、絶対に切らないでください。
 - ② パイプシャフト（水道メーターがあるところ）に、凍結防止ヒーターがある場合は、コンセントが差し込まれているか確認し、抜けている場合は差し込んでください。
 - ③ 給湯器のコンセントも抜かないでください。（給湯器本体のヒーターが作動するため）
-
- その他詳細については、各取扱い説明書をご確認ください。
 - 電力の契約解除などを行う際には、事前に住宅センターにもお知らせください。